

平成25年度 第2回平田地域協議会 会議録（要約）

1. 日 時／平成25年8月8日（木）午後2時～午後5時

2. 場 所／平田総合支所 302号室

3. 出席者／（1）1号委員（団体推薦委員）

後藤金美委員、阿曾智子委員、伊藤市太委員、佐藤薫委員、
土田雄一委員、多田光吉委員、長谷部耕次委員、加藤勝子委員、
庄司美智子委員、土田伸委員・・・・・・・・・・・・・・・・計10名

（2）2号委員（識見委員）

阿部重敏委員、阿部敬子委員（副会長）・・・・・・・・計2名

（3）3号委員（公募委員）

石黒由香委員、富樫文雄委員（会長）・・・・・・・・計2名

（4）酒田市

久松勝郎健康福祉部長、高橋淳子子育て支援課長、
子育て支援課 長村正弘課長補佐、
平田総合支所 石川忠春支所長兼市民福祉課長、
土田瑞穂地域振興課長、小松原茂建設産業課長、
地域振興課 富樫好課長補佐、佐藤雄二地域振興主査、
小松原毅地域振興主査兼係長（会議録作成者）・・・・・・・・計9名

出席者合計23名

4. 欠席届／2号委員 土田民子委員（識見委員）

5. 次 第／（1）開会

（2）会長あいさつ

（3）支所長あいさつ

(4) 会議録署名委員の選任

(5) 報告

①平田地域内の公立保育園統合にかかる経過報告について

②大雨による被害の状況について

③酒田市過疎地域自立促進計画・平田地域ビジョンの進捗状況について

④酒田市住民アンケート調査の集計結果について

(6) 協議

①地域づくり（平成26年度 地域づくり予算）について

②地域課題について

(7) その他

(8) 閉会

6. 会議録／(1) 開会

▶土田地域振興課長

(2) 会長あいさつ

▶富樫会長

本日は第2回目となる地域協議会にお集まりいただき、ありがとうございます。

今年は異常気象だと、テレビや新聞などマスコミでも報道されている。平田地域においても被害が出ており、課題もあるわけだが、関係者と行政とが一体となって克服していただきたく、希望申し上げたい。

飛鳥中学校の統合については、校舎の改修も進み、校歌や校章についても制作を依頼したところである。校舎の改修工事で心配されることは、1カ月ごとに教室が変わったり、体育館などの使用が制限されたりすることによる、学習や部活動などへの影響である。子どもたちが健全に成長していけるよう、委員の皆様からも中学校に足を運んでいただくなど、

よろしくお願ひしたい。

地域課題については、少子高齢化、一人暮らし、空き家など、私も各地区に出向いているが、思った以上に大変な状況となっている。地域協議会の委員も地域の各界各層からお集まりいただき、皆さんからは地域課題を積極的にこの場へ持ち込んでいただき、みんなで解決の方向を見出していきたい。このことを切に願ひし、開会のごあいさつとしたい。

本日はよろしく願ひいたします。

(3) 支所長あいさつ

▶石川支所長

皆様ご苦勞様でございます。

会長のあいさつにもあったが、7月8日から23日ごろまで大雨が続いた。全国的にも大きな被害があったが、県内では後半に内陸での被害が目立った。平田地域においては、河川、農道、林道、市道などに被害を受けたが、緊急の対応をしながら、これから本格的な復旧に向けた作業に入っていくという状況である。被害状況については、後ほど詳しく報告させていただきたい。

本日は、健康福祉部長と子育て支援課長が出席させていただいている。後ほど公立保育園統合の経過について説明させていただくので、よろしく願ひしたい。

平成22年に過疎計画を策定し、翌23年には地域ビジョンを策定していただいた。その進捗状況については、毎年地域協議会で報告させていただいているが、昨年度から進んでいる部分などについて、後ほど報告させていただきたい。

合併後の再評価という考え方で、3総合支所管内の全世帯を対象に、住民アンケート調査を実施させていただいた。平田地域では75.7パーセントの世帯から回答をいただいた。この結果を地域づくりにどう生かしていくかということについて、皆様からご意見をいただきたい。

よろしく願ひいたします。

(4) 会議録署名委員の選任

▶富樫会長

会議録署名委員として、阿曾智子委員を選任いたします。

(5) 報告

①平田地域内の公立保育園統合にかかる経過報告について

▶久松健康福祉部長（資料に沿って説明）

▶多田委員

子どもの数が減り、経営のことも考えると、統合も分からなくはないが、やるべきことはこれではないと思う。多くの方から承諾を受けているとのことだが、住民アンケートの結果を見ると反対の意見もあり、100パーセントの人が賛成しているわけではない。

統合も仕方がないのかもしれないが、並行して考えていかなければならないのは、子どもをもうけて生活していくための年収や、産休、育休など、少子化にどう対処し、どうやって地域を成り立たせていくかということである。そうしないと、何年か後には村から人がいなくなり、家がなくなってしまう。大きな問題ではあるが、全員で一つずつ考え、解決していくしかない。

▶久松健康福祉部長

ただ今のご意見、そのとおりだと思う。春先に、国立社会保障・人口問題研究所が出した推計によると、現在約11万人の酒田市の人口が、平成52年には7万1千人になるとのことであった。市長も危機感を持ち、少子化へ対応するための検討が動き始めたところである。

少子化対策については、多田委員からご意見があったように子育てだけではなく、結婚し、子どもが生まれ、働いて育てて、あるいは病気やけがをしたときの対応など、行政のあらゆる部署が関わりを持つ。

市長からはすべての部課長に対し、少子化に歯止めを打つ対策を各課で検討するよう号令がかかっている。現在は、各課において検討した結果を集約したところであり、今後は企画部門において事業を展開していくための計画を立て、平成26年度から事業を実施していく予定となっている。

少子化の関係では、晩婚化、晩産化も少子化の原因の一つといわれている。なぜ結婚しないのかという調査を行ったところがあり、その結果を見ると、正規、非正規雇用にかかわらず、出会いの場がないと答えた方が圧倒的に多かった。また、結婚や出産に対するイメージについては、男性よりも女性の方がマイナスイメージを強く持っていた。

これらへの対処療法としては、行政として現在行っている出会いの場づくりをさらに拡充していくことや、女性が持つ結婚や出産に対するマイナスイメージを拭い去るため、たとえば高校に小さな子とその母親か

ら来てもらい、女子高校生に親子のふれあいを体験させ、結婚や子育ての楽しさ、あるいは大変さを学んでもらうといった取り組みを考えている。併せて、仕事、雇用については、関係する部署において、平成26年度もさらに力を入れて取り組んでいく予定である。

▶高橋子育て支援課長

子育て支援課では、どうしたら若い方たちが安心して子どもを産み育てられるようになるのか、お子さんをお持ちの方たちが安心して育てていけるようになるのか、考えられる手立てを少しずつ打ってきている。たとえば医療費であれば、これまでは就学前のお子さんが無料であったものを、今年度からは小学3年生まで拡大した。また、病気のお子さんを抱えて仕事をするのは大変だというあたりへの支援として、病児・病後児保育を実施している。さらには保育園の預かり時間を長くしたり、保育料の軽減であるとか、小さな積み重ねではあるが、できることから産み育てやすい環境づくりを進めてきた。

しかし、やはり少子化の影響は大きく、保育園の統合ということも考えていかないと、なかなか子育て支援行政が回っていかないというような事情もあり、苦しいところである。昨日も、八幡地域の方々との話し合いの場を持たせてもらったのだが、地域の皆さんの保育園に寄せる思いは本当に強く、こんなにも保育園が大好きであり大切にしたいという気持ちがひしひしと伝わってきた。

そうした思いも分かりながら、統合ということをしていかなければならない苦しさ、つらさの中で、自分自身複雑な思いを持ちながら、それでもなんとか皆様の思いに近づく形で、かつ行政も回っていけるような方向がないものかと思いつつながら、本日の会に臨んだところである。行政だけではなんともならない面もあり、皆様から色々と教えていただきたい。

②大雨による被害の状況について

▶小松原建設産業課長（資料に沿って説明）

▶長谷部委員

B&G海洋センター ヨットカヌー場の溜池堤体一部崩壊について、所有は大町溝土地改良区とあるが、大町溝として、いつごろどう対応していくのか。

被害の状況を見ると、鳥海南麓に関わるものが結構多い。他は小規模土地改良補助事業として市で3分の2を補助するということだが、鳥海

南麓の場合、どういった財源で対応するのか。

▶土田地域振興課長

B & G海洋センター ヨットカヌー場について、現在は施設の使用も可能な状況であるが、被害箇所が広がらないよう、大町溝土地改良区において復旧の時期や方法を検討しているとのことであった。

▶小松原建設産業課長

鳥海南麓における被害について、農道、市道については市で直す、個人の所有地については市では対応できない。

▶長谷部委員

大町溝土地改良区で復旧するにしても、圃場整備の土木事業も無くなっており、財源の部分が重くのしかかってくる。早くできるのか、いつになるのかが問題であり、きちっと対応してもらいたい。

鳥海南麓については、次の雨までに現状を回復できるかが課題である。それをやらないと、次から次へと被害が重なってしまう。

中野俣で被害が多く出ているが、県から対応してもらえるとのことだが、これも早くできるのかが問題である。

▶小松原建設産業課長

中野俣川については、河川改修の速度が遅くなっている状況であり、雨も多く降ったということもあるが、河川改修が済んでいれば、もしかしたら護岸の崩落もなかったのではないかと考えている。引き続き、河川改修に対する要望活動に力を入れていきたい。被害箇所については、庄内総合支庁の河川砂防課からはすぐに来てもらったが、早期復旧に向け重ねてお願いしていく。

▶多田委員

鳥海南麓について、災害復旧も重要であるが、根本を直さないのも同じことの繰り返しになっている。作った時には想定できなかったことが起きており、蓄積された泥水は本当にすごい。さかた未来トークでも発言したのだが、住民と市が一緒になって協議会を作り、国に要望して根本的な解決を早めにやってほしい。お願いします。

▶富樫会長

社会資本は住民生活に直結することであり、行政には早急な対応をお願いしたい。

③酒田市過疎地域自立促進計画・平田地域ビジョンの進捗状況について

▶土田地域振興課長（資料に沿って説明）

▶後藤委員

道路機能改善（オーバーレイ）事業であるが、平成22年ごろに元田沢からコミュニティ振興会を通して要望しているのだが、計画には入っているか。

▶小松原建設産業課長

確認し、後ほど報告させていただきたい。

▶長谷部委員

農村環境改善センター改修事業について、照明設備は対象になっているか。

▶小松原建設産業課長

耐震診断を行ったところであり、全体的な改修計画はこれからである。

▶長谷部委員

B & G海洋センターのプールの改修だが、これだけ年数がかかると利用者はよそに向かってしまう。予算のこともあり簡単にはいかないことも分かるが、利用者が離れないよう、できるだけ早めの対応をとるべき。

農村環境改善センターのホールの照明は、暗くて直さなければならないと思っているのだが、何年たっても直らない。また冷房設備は機能しておらず、スイッチを入ると寒すぎ、スイッチを切ると暑くていられない。タウンセンターの冷房も壊れ、今年の夏は多くの利用者が苦勞している。各施設とも管理体制をとっているにもかかわらず、あちこちの施設がこういった実態であることについて、もう少し真剣に考えてもらいたい。

▶石川支所長

農村環境改善センターのホールの照明については、担当課に要望しているところであるが、今後も総合支所として担当課と話をしながら、予算要求につなげていきたい。

タウンセンターの空調機械については、2機で動いており、そのうち1機の具合が悪く、修繕する予定であった。その間、夏の間もう1機でつなごうと思っていたところ、そちらも故障してしまった。また空調機械を修理するにあたり、ストックしてある部品を持ってくるのではなく、基盤から作らなければならないこともあって、直るまで実質1カ月近くかかってしまった。

今回のことを教訓に、1機の具合が悪くなり心配な場合、予算要求も行い早めに直す対応をとっていきたい。

▶多田委員

農業関係の補助事業について、制度の内容を分かりやすく説明した資料を認定農業者など関係者に配布するなど、もっとPRしてもらいたい。

▶小松原建設産業課長

後日資料を配付させていただきたい。

▶阿曾委員

生涯学習センターにおいて、交流人口の拡大に向けた事業を行っているが、こうした事業をサポートするための山岳ガイドとか森の案内人といった、人材育成の面にも力を入れていただきたい。

▶土田地域振興課長

おっしゃるとおりであり、以前からそういったご意見もいただいている。交流人口の拡大に向けては、生涯学習センターを活用しながら、小学校の自然教室や海津市との児童交流事業である平田っ子交流会などの事業を実施している。こうした事業を行う際に必ず必要となるのが、いろいろな活動をサポートしていただく人材であり、現在、経ヶ蔵山登山や川遊びを行う際などには、そういった部分に長けた地域の方に直接お願いし、ご協力をいただいているという状況である。

今後さらに交流人口の拡大を図っていくためには、こうした人材を増やしていくことが課題であると認識している。できれば、昨年視察した遊佐町のしらい自然館のように、地域の団体に協議会を立ち上げ連携して活動するといった方向で、人材も育てていく体制を作れないか、今後検討を深めていきたい。

④酒田市住民アンケート調査の集計結果について

▶土田地域振興課長（資料に沿って説明）

▶富樫会長

住民アンケートの結果については、真摯に受け止め、様々な事業に反映させていただきたい。この住民アンケートを踏まえた地域づくりに対するご意見については、次の（6）協議の中でいただきたい。

（6）協議

①地域づくり（平成26年度 地域づくり予算）について

▶土田地域振興課長（資料に沿って説明）

▶長谷部委員

平田町時代、除雪に対する町民の評価は非常に高かった。しかし今回のアンケート結果を見ると、除雪や排雪の対応について、「不満・やや

不満」と答えた方が43パーセント、また除雪や排せつの対応が「重要・とても重要」と思っている方も79パーセントであった。現状が悪くなっていることが現れたわけだが、なぜこういう数字が出たのか、どう受け止めているか。冬期間の生活に関わる重要な地域課題であり、何が原因か分からないと手も打てないのではないか。

▶阿部重敏委員

除雪については、排雪する場所を提供していただくなど住民の協力も必要だと思っている。私のところでは、了解を得て空き地に置かせていただいたり、山林に吹き飛ばしたりしている。

街路灯についてだが、私のところから仁助新田までの区間で、点いていない電灯が数カ所ある。これが行政で管理する街路灯なのか、自治会で管理している防犯灯なのかが分からない。自治会で管理する防犯灯については台帳もあるのだが、それ以外の街路灯については守備範囲を示してもらい、「この自治会で報告してください」というようなことがあれば、もう少し電灯も点くのではないか。

▶富樫会長

平成26年度の予算には、こうした民意を反映させていただきたい。長期的な考え方で進まなければならないものについては、各組織に持ち帰って討議していただきたい。

②地域課題について

▶長谷部委員

先日行われたさかた未来トークの際に私が提案した、鳥海南麓に関する組織づくりについて、行政側ではどのような受け止め方をしているのか。

▶石川支所長

現時点において、市として働きかけていくという話にはなっていない。しかし、大町溝土地改良区も含め、現在の水路の在り方、排水の取り方、砂防の在り方などについて相談しているところである。組織についての具体的な検討には入っていないが、地域の皆さんで協議会を立ち上げたいということになれば、その段階で相談の場が出てくると思う。

(7) その他

▶土田伸委員

飛鳥中学校の改修工事について、進捗状況を報告させていただきたい。

現在は2期工事として、体育館の改築工事などを行っている。今は夏休みだが、子どもたちがいた学期末において、工事の音がうるさいという声も聞こえてきた。教育委員会や業者の人たちからは格別の配慮をしていただいているのだと思うが、こうした声もあるので今後も配慮をお願いしたい。

工事の関係で、生徒が足を滑らせ、転んでしまい足を4針縫うけがをした。その後滑らないよう対策をとっていただいたが、最初から対策していただきたかった。

今後3期工事も始まるが、その際に教育委員会による説明会が開催される。地域協議会の委員の皆様、総合支所の方からも来てもらって、地域の声を聞いていただきたい。

▶富樫会長

私からは、東部中学校の校歌と校章のデザインをお願いする方が決まったことを報告させていただきたい。校歌については、東京在住の小学校の先生である筒井雅子さんに、校章については、山谷出身の彫刻家である石黒光二さんをお願いした。卒業式などで歌われる曲として有名な、「あなたへ 旅立ちに寄せるメッセージ」という曲があるのだが、筒井さんはその作詞作曲者として知られている。酒田には何度もおいでいただいております、私もお会いした際、この地の自然や風土を十分加味していただきたいとお願ひしたところである。

(8) 閉会

▶阿部敬子副会長

まだまだ猛暑が続いているが、水分補給を十分に行うなど、皆さんも熱中症にならないよう、この夏を乗り切っていただきたい。これをもちまして、第2回目の地域協議会を閉じさせていただきます。

ご苦労様でした。